

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。



病虫害発生予察注意報第4号

ハスモンヨトウが多発傾向です

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 作物名 | 豆類（黒ダイズ、エダマメ等）、野菜類 |
| 2 病虫害名 | ハスモンヨトウ |
| 3 発生地域 | 府内全域 |
| 4 発生時期 | 6月～11月 |
| 5 発生量 | 多い |

6 注意報発令の根拠

- 京田辺市、亀岡市及び京丹後市に設置しているフェロモントラップへのハスモンヨトウの誘殺虫数は5月第6半旬から平年を上回り、6月第1半旬から急激に増加している（図1）。
- 5月第5半旬～6月第4半旬の誘殺虫数は、京田辺市 155.0頭(平年40.8頭)、亀岡市 205.3頭(平年53.2頭)及び京丹後市 147.0頭(平年44.5頭)と、いずれも平年比多い（表1）。
- 大阪管区气象台が6月20日に発表した向こう1か月の近畿地方の気象予報では、向こう1か月の気温は平年並または低く、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多いと予想されている。

7 防除上の留意事項

- ほ場を見回り、若齢幼虫分散前の白変葉の早期発見・除去に努める。
- 齢が進んだ幼虫では薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要である。
なお、薬剤抵抗性の発達を防止するため、使用薬剤は異なる系統のものを使い、同一系統の薬剤の連用は避ける。

(3) 施設栽培で、入口やサイド等開口部に防虫ネット（4mm目合い以下）を展張し、成虫の飛来・侵入を防止する。

なお、防虫ネット上に産卵し、孵化した幼虫が施設内に侵入することがあるため注意する。

(4) 農薬を使用する際には、使用基準を遵守して適正に使用する。

最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー」の「農薬情報」で確認すること。

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>

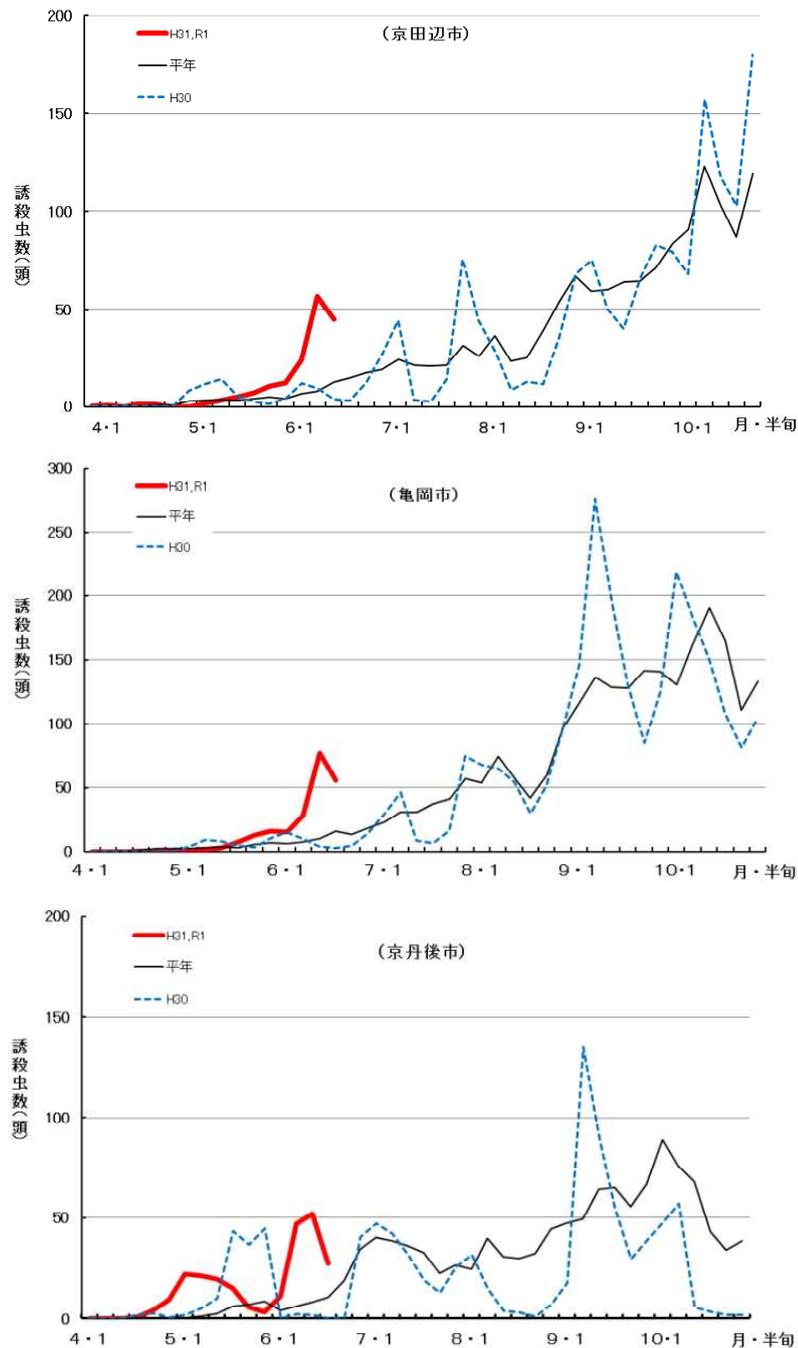


図1 フェロモントラップへのハスモンヨトウ誘殺虫数

表1 ハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺虫数*1

	京田辺市	亀岡市	京丹後市
令和元年	155.0	205.3	147.0
平成30年	33.9	46.0	85.5
平成29年	52.9	76.4	53.7
平成28年	63.9	78.3	73.4
平成27年	24.4	44.0	37.7
平成26年	21.2	27.9	32.4
平成25年	26.0	37.0	20.1
平成24年	40.0	17.5	14.0
平成23年	55.4	73.8	45.4
平成22年	41.9	78.3	59.5
平成21年	46.3	(7.6)	23.7
平年値*2	40.8	(53.2)	44.5
平年比較	平年比多い	平年比多い	平年比多い

*1: 5月第5半旬～6月第4半旬の合計誘殺虫数

*2: 平成21年～30年の10カ年の平均値

(亀岡市の値は、トラップの種類及び設置場所変更に伴う平成22～30年の平均値)